

TECHVAN

 Microsoft 365

違いとデータ移行を分かりやすく図解

Google WorkspaceからMicrosoft 365へ あんしん移行方法

はじめに

現在様々なクラウド型のグループウェアが普及していますが、その機能もここ数年で大きく進化しています。

テレワーク化が進む中、ファイル共有や同時編集はなくてはならない機能として標準装備され、契約形態も初期費用の負担が少なく契約期間中自由に利用できるサブスクリプション型が増えてきました。それぞれのプランも豊富で、グループウェアを選ぶ際の選択肢は多くあります。

本資料では、グループウェアのなかでもユーザー数が多いGoogle WorkspaceとMicrosoft 365に焦点をあて、両者の違いを説明しています。

サービスを選ぶ基準として機能の違いやメリットの多さは重要ですが、選定する際には他にもいくつかポイントがあります。

導入を迷っている方、もしくは今現在どちらかを利用中で移行を検討している方、また、移行をしたくても様々な課題を抱えなかなか踏み込めずにいる方は、ぜひ参考にさせていただければと思います。

CONTENS

Google Workspaceについて	2
Google Workspaceの特徴	3
Microsoft 365について	4
Microsoft 365の特徴	5
基本情報比較	6
アプリ名称比較	7
選定ポイント	8
Microsoft 365へ移行する理由	9
移行の悩み	10
テクバンの移行支援サービス	11
メール移行イメージ（移行期間中）	12
メール移行イメージ（移行完了後）	13
ファイル移行イメージ	14
サービスメニュー	15
Microsoft 365ならテクバン	16

基本情報比較

	Microsoft 365		Google Workspace
	Business Standard	Office365 E3	Business Standard
利用可能人数	1~300名	上限なし	1~300名
スマートフォン対応	○	○	○
Web会議最大利用人数	300人	300人	150人
ストレージ	1TB	1TB	2TB
メール容量	50GB	100GB	ストレージ容量内に含む
MS Officeとの互換性	○	○	△
OfficeProfessional 2019ライセンス	無償	無償	有償

利用人数や容量に差異はありますが、いずれも1ユーザーが使用するには十分であり、機能面に大きな差異はありません。

移行の悩み

移行を検討していても、以下のような悩みがあってなかなか踏み切れずにいるという経験はありませんか？

- ✓ メールやスケジュールのデータを移行できるか不安
- ✓ 移行したいがデータの移行期間が長期化しそうでなかなか踏み出せない
- ✓ ストレージにあるファイルをどうすればいいか分からない
- ✓ 利用者主体の移行作業は面倒
- ✓ 移行計画をどうやってたてたらいいのか分からない

その他、移行時のデータ損失のリスクや移行作業時間に比例したコスト幅拡大など、移行に関する課題が多くて、現在のグループウェアからなかなか切り替えられない方も多くいらっしゃいます。